

第9回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 前橋の開催にあたって

「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」は、2005年6月に宇都宮市で開催されたのを皮切りに、京都市、横浜市、東京都、岡山市、新潟市、宇都宮市、および福井市でこれまで計8回開催されてきました。第9回大会を前橋市で開催するにあたり、全国各地から参加される皆様方に、先ずは開催地を代表して歓迎と感謝の意を表します。

地方都市では過度な自動車社会の進行による公共交通利用者の減少、高齢者等による悲惨な交通事故の発生、地球温暖化ガス等の排出による環境負荷の増大、さらには人口減少と高齢社会への対応、中心市街地の空洞化やスポンジ化現象など、解決すべき喫緊の課題が山積しています。このような社会問題を解決するためには、従来の都市計画と交通計画を同時かつ戦略的に展開することが求められています。すなわち公共交通指向型都市開発(TOD: Transit Oriented Development)は、公共交通機関の整備に基盤を置き、自動車に依存しない地域を目指したまちづくりです。国ではこのような地方都市の動きを支援する目的で、都市再生特別措置法や地域公共交通活性化再生法を制定し、これらの法律に基づき多くの都市では、立地適正化計画や地域公共交通網形成計画を策定しております。これらの計画により鉄道駅やバス路線沿線に、都市機能や居住機能の集約を図り、公共交通を活かしたまちづくりを進めようと計画しております。

群馬県は全国有数の自動車王国であり、自動車の分担率が約78%であるのに対し、鉄道とバスの公共交通機関の分担率は約3%と非常に低いのが現状です。しかし、人口が減少する中、高齢者世帯の増加や買い物難民の増加など、交通弱者への対応が求められており、「自動車以外の移動手段も選択できる社会」の実現に向けて、多様な移動手段の確保が求められています。具体的な動きとしてはわが国で初めての営業運行でのバス自動運転実証実験の実施、公共交通オープンデータの活用による公共交通情報の提供、AIを活用したバス運行システムの導入、さらにはBRTの運行計画などがありますが、公共交通の再生には多くの課題があります。

今回の全国大会では、全国の研究者、行政関係者および市民による研究発表、久野慎也教授による基調講演、地域からの報告として群馬県や前橋市における交通まちづくりに関する報告、および前橋市におけるこれまでの取り組みの紹介を踏まえつつ「健康で安全安心な群馬のまちづくりへ！」をテーマについて語り合うパネルディスカッション等を企画しております。中でもパネルディスカッションでは、市民の視点から交通まちづくりの現状と課題について討論・提言する予定です。その背景としては、従来のように行政主導型のまちづくりには限界があり、行政と市民による協同のまちづくりが求められています。そのためには私たち市民も積極的に地域の様々な課題に関心を持ち、地域との係りを強める必要があります。今大会が、参加される皆様方相互の活発な意見交換の場となり、「人と環境にやさしいまちづくり」の実現に向けての更なる発展に寄与することを期待しております。

最後に今大会の開催にあたり多大なるご協力・ご支援をいただきました関係各位、関係機関には実行委員会を代表して深甚なる謝意を申し上げます。

前橋工科大学 名誉教授 湯沢 昭

(第9回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 前橋 実行委員長)

第9回前橋

目 次

1. 交通・観光まちづくり

会場1

座長：板谷和也、副座長：新納克広

No	タ イ ト ル	氏 名	所 属	ページ
1	横浜における市民参画による交通政策の推進	小田部明人	(N)横浜にLRTを走らせる会	1
2	地域公共交通と自治体の役割について	山本 翔	(株)日本政策投資銀行 地域企画部	3
3	運賃からの解放ー新しい受益者の誕生ー	竹ノ内博美	(株)東京交通新聞	5
4	若者の「自動車離れ」の実態に関する考察	板谷和也、菅沼裕也	流通経済大学 経済学部	7
5	人車共住・同居社会の実現を	木下繁則	IEJプロフェッショナル	9
6	宇都宮市の健康ポイント事業について	古池弘隆	宇都宮共和大学	11
7	広島市中心部再生と分かりやすい交通体系づくり	園部貴之	ジャーナリスト	13
8	ビッグデータ分析による効果的な観光情報発信に関する基礎的研究	平形将之、長田哲平 大森宣暁	宇都宮大学 工学部 建築学科	15
9	GTF Sと忍者、空港と航路が仕掛ける観光圏づくり	山田和昭	津エアポートライン(株)	17
10	観光アクセス交通は独立採算でよいか	新納克広	奈良県立大学	19

2. 群馬で考える交通まちづくり

会場2

座長：塚田伸也、副座長：宮沢康則

No	タ イ ト ル	氏 名	所 属	ページ
1	けやきウィーク前橋と交通系市民団体との連携活動について	佐原 聡 塩島 翔	けやきウォーク前橋 上毛電鉄友の会・前橋ジオラマ部	21
2	お年寄りが一人で乗って・必要な場所をめぐり・帰って来ることができる、群馬におけるLRT・DMV路線の提案	亀谷崇樹	多摩美術大学	23
3	初等・中等教育段階における公共交通意識の醸成に関する基礎的研究	新井達也 田尻 要	ものづくり大学大学院	25
4	フィリピンの緑地政策と労働との関係性についての考察	塚田伸也 森田哲夫 塚田伸也	成蹊大学 前橋工科大学 前橋市	27
5	まちづくりを主題とした主権者教育から探究学習プログラム「めぶく」への発展	田崎 潤 林 和弘	前橋市立前橋高等学校	29
6	高校生による「安全・安心な前橋」 ー自転車・道路革命ー	角田幸輝、萩原修斗 小鮎 蓮、横澤 汐 内山耀司、野水裕太	前橋市立前橋高等学校	31
7	高校生による「安全・安心な前橋」 ーAI活用による交通システム・高齢者対策ー	宇田朱里、藤多梨里香 藤岡太一、福島 準 柴崎航聖、石井翠紘	前橋市立前橋高等学校	33
8	高校生による「安全・安心な前橋」 ー中心市街地活性化ー	木部 茜、坂田萌衣 佐藤 杏、都丸愛莉 串淵美侑	前橋市立前橋高等学校	35
9	市立前橋高校における教育実践を通じた生徒の交通安全意識の評価に関する研究	小林光希、森田哲夫 湯沢 昭	前橋工科大学	37

3. 地域公共交通全般

会場3

座長：古川 洋、副座長：西堀泰英

No	タ イ ト ル	氏 名	所 属	ページ
1	公共交通のパフォーマンス・インディケータ	古川 洋	(株)カシク	39
2	タクシー事業の人材確保と時代の変化への対応状況	西堀泰英、福本雅之	(公財)豊田都市交通研究所	41
3	運行5年目に入ったコミュニティバスのサービス拡大	児井正臣	長尾台コミュニティバス利用者協議会	43
4	モータリゼーションの進行した地方都市における公共交通と自動車交通の分担特性	森合勇登、森田哲夫 湯沢 昭	前橋工科大学	45
5	中津川市における公共交通改善の取り組み ～定住推進のために公共交通に出来ること～	柘植良吾 福本雅之	中津川市 定住推進課 (公財)豊田都市交通研究所	47
6	『生活バスちばにう』5年間の軌跡 ー市民に共感される公共交通をめざしてー	前田善弘	(N)交通まちづくり戦略会議	49
7	イオンバスから学ぶ事	柴田智洋	(N)横浜にLRTを走らせる会 横浜の公共交通活性化をめざす会	51
8	移動手段選択と生活習慣の関係性	加藤研二	阿南工業高等専門学校	53
9	MaaS及びインバウンドの視点でみた「見えバス」	嶋原育子	(株)マネジメントシステム	55

4. LRT・自転車

会場4

座長：服部重敬、副座長：入江貴裕

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	交通シミュレーションを用いた岡山駅前広場のレイアウト変更に関する事前評価	藤井秀樹	東京大学大学院 工学系研究科	57
2	新設型LRTと自動車接触事故防止を目的とした3DVRコンテンツの効果に関する研究	渡邊浩大、長田哲平 大森宣暁	宇都宮大学大学院	59
3	LRTを導入するために 一周辺の適応性と必要なイノベーション	ジャンピエール・ラガリュ	(株)アンジェロセック (株)エスイー	61
4	LRT 2019年の動向	服部重敬	(一財)地域公共交通総合研究所	63
5	芳賀・宇都宮のLRT事業について	熊田浩也	宇都宮市 建設部 LRT企画課 協働広報室	65
6	「交通未来都市うつのみや」を目指して	奥備一彦	雷都レールとちぎ	67
7	サイクリストからみた自転車観光まちづくりへの期待と課題	山田将大 吉村朋矩	福井工業大学大学院 福井工業大学 工学部	69
8	シェアサイクルに関する最近の社会情勢と都市の動向について	岩崎裕直	(公財)仙台市建設公社	71
9	真備復興自転車とアクセスマップ	堀脇正信	(N)公共の交通ラクダ	73
10	みんなの交通OkayaMaaS	岡 将男	(N)公共の交通ラクダ	75

5. 鉄道

会場5

座長：阿部 等、副座長：黒崎文雄

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	鉄道を核とした交通の革新が日本の未来を拓く	阿部 等	(株)ライトレール	77
2	「参画型」鉄道存続運動の特徴と仕組み	山中 真	(一社)交通環境整備ネットワーク	79
3	ウイラートレインによる三江線の存続を模索した理由 －安易な鉄道廃止ではなく、事業者を変えて存続を模索する－	堀内重人	運輸評論家	81
4	信越本線「横川・軽井沢間」分断再考	池田昌博	(N)KOALA	83
5	ユニバーサルサービス論から見た「国鉄改革」再考			85
6	スウェーデンの鉄道政策から考える日本の鉄道運営	黒崎文雄	(一財)交通経済研究所	87
7	駅別乗車人員データから見る観光列車の効果と課題 －観光・交通まちづくりへの示唆－	藤田知也	大阪市立大学大学院	89
8	上毛電鉄友の会の活動経過と未来 －市民・鉄道ファンから愛される鉄道をめざして－	新保正夫、塩島 翔	上毛電鉄友の会	91

6. 交通データ分析

会場6

座長：長田哲平、副座長：出町 敦

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	スマートIC大型車対応化整備効果の評価要因に関する研究	川田浩平、森田哲夫 湯沢 昭	前橋工科大学	93
2	山間部から都市部の各地域における私事交通特性を考慮した行動群に関する研究	齋藤雅人、森田哲夫 湯沢 昭	前橋工科大学	95
3	市町村合併を経た地方都市における居住地選択要因に関する研究	千葉秀正、森田哲夫 湯沢 昭	前橋工科大学	97
4	広域ミクロシミュレーションの構築における自動車OD交通量の推計	内田秀平、田部井優也 長田哲平、大森宣暁	宇都宮大学	99
5	情報共有機能を有する子育て支援世帯の外出行動支援のためのスマートフォンアプリの開発	韓昱琦、大森宣暁 高草木祥、長田哲平	宇都宮大学大学院	101
6	Within one mileの交通に注目した地域の暮らしに新しい価値を提供する低速電動バスの運行試験と課題	天谷賢児、小竹裕人 宝田恭之、松村修二 岡田久典、永井祐二 井原雄人 江川賢一 埴 智史 登丸貴之、清水宏康 佐羽宏之	群馬大学 〃 早稲田大学 〃 東京家政学院大学 明治安田厚生事業団 (株)桐生再生 2015年からの生活交通をつくる会	103
7	中心市街地における道路空間構成と沿道店舗の立地を考慮した端末物流活動の実態に関する研究	齋藤 輝 長田哲平、大森宣暁	宇都宮大学大学院 宇都宮大学	105
8	中心部商店街における受動赤外線計測器を用いた通行量の面的分析	我妻智世、齋藤 輝 長田哲平、大森宣暁	宇都宮大学 工学部 建築学科	107

付 録

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	交通政策基本法及び関連事項の解説	阿部 等	(株)ライトレール	1
2	交通政策基本法の概要と全文	国土交通省		2
3	関連2法等の一部改正			6
4	交通政策基本計画について			7
5	平成30(2018)年版 交通政策白書の目次			12
6	新交通システム推進協議連盟(通称:LRT推進協議連)会員名簿			新交通システム推進協議連盟
7	LRT都市サミット松山2017 サミット宣言	LRT都市サミット松山2017 参加都市一同	14	
8	第13回全国路面電車サミット2018松山 サミット宣言	全国路面電車サミット2018松山 実行委員会	15	
9	交通新聞2018.8.20「オープンデータ」	宇都宮浄人	関西大学	16
10	交通新聞2018.10.29「新技術」			17